

地方創生特別委員会

問 池女会(いけじょかい)

やアイデア工房は時間の余裕がある特定の人の集まりのように思え、幅広い意見も取り入れるべきでは。

答 池女会の参加者は28名で、10代後半から50代前半の学生や仕事をしている人や子育てをしている人など幅広いメンバーで構成されている。今回の参加者は限られた一部の方であるが、プロジェクトに関心を持ち積極的に



「I Love Ikeda」のメンバー

参加されている。このようなかたちを中心に、町づくりに関心のある幅広い人から意見をいただけるようにしていきたい。

問 ショートフィルム(動画)

画)は、どのような作品が応募されているのか、投票による上映場所や方法は。



町内の金融機関にて、上映・投票に参加

答 21作品の応募で、全作品の上映時間は約10分です。

中央公民館や役場のロビーなどで上映し多くの皆さんに投票していただきたいと思います。また池田中学校や町内企業の数

社の上映も検討している。投票方法は投票用紙に記入して順位を決定していきたい。

問 道の駅の電動アシスト

つきレンタルサイクル整備費500万円となっており、整備費のみの費用か、利用料金の設定金額は。

答 自転車の購入費用に加え、その自転車などの場所を回ったかリアルタイムでわかるGPS機能がついており、その年間の通信費も含まれていきます。また、レンタルサイク



レンタルサイクルモニターツアー参加者の皆さん

ルはどこでも返せるようにするため、その再配置の費用やパンク等のメンテナンス費用も含んでいます。利用料金は500円から800円を検討している。

養老鉄道存続特別委員会

問 平成28年度予算で養老

鉄道存続支援事業は、約4700万円を予算化しているが、前年度に比べ約1100万円増加している。この支援金は将来、多額になるのか。その見通しは。



乗って残そう養老鉄道!

答 平成28年度、29年度の負担額は大きく変わらないが、基本合意による事業形態は、平成29年中に新しい会社として沿線7市町で設立することになり、現在10億3000万円の赤字であるため、その金額を国の補助金を受けながら運営していくこととなる。今の状況から考えると、6億5000万円から7億円の赤字を補填しなければならぬ。仮に均等割りになると1億円を平成30年度から負担して、新法人として施設管理・運営していくことになる。



乗って残そう 養老鉄道

池田町マスコットキャラクターちゃちゃまる